# 2019 年度 第 7 回 治験審査委員会 議事録概要

	開催日	2019年10月7日(月)16:05~17	10	会場	易 B棟2階研修支援センター1					
議長	寺島 康博	議長(治験審査委員会委員長)が担当の治験	の議題	: 副委員長が譲	長、副委員長不在時:治験事務局長が司会					
哦又	可四 冰点	治験責任医師、治験分担医師はその	治験責任医師、治験分担医師はその関与する治験に関する事項の審議及び採決には参加できない。							
		治験審査委員会 委員(職業、所	属)	【出席:○、欠席:	×]					
		医師 (4名)			事務局員(3名)					
0	寺島 康博	糖尿病内分泌内科 (委員長)	0	野村 敏夫	事務局員					
×	志水 英明	腎臓内科 <b>(副委員長)</b>	0	松井 敏之	事務局員					
0	長﨑 宏則	麻酔科	0	○ 菅雅 事務局員						
0	石原 明典	呼吸器内科 医師	看護師(1名)							
		専門外(2名)	0	都築 智美	看護部					
0	坂田 雅史	会社員、大同特殊鋼株式会社	薬剤師(1名)、薬剤事務員(オブザーバー1名)							
0	太田 成	弁護士、弁護士法人 後藤·太田·立岡法律事務所	0	田中 章郎	薬剤部					
			0	(須本 倫史)	薬剤部 事務員:議決権なし					
		【株式会社エシック】治験事務局支援業務担当者(担	当案	牛のみ参加、審議には	は参加していない。)					
	新規治験に関する参加者									
0	渡辺 充	膠原病リウマチ内科								
厚组	上労働省の規定する	GCP 上、当院の治験審査委員会の決議を行うためには	最低 6	名の出席が必要と	なります。 なお、代理出席は認められていません。					

## 新規案件【CentralIRB 審議分】だいどうクリニックで実施する案件

Central IRB	依頼者	治験薬品名	Phase	対象	診療科	治験責任医師
2019/9/20	ノバルティス	QBW251	Πb	COPD	呼吸器内科	沓名 健雄

### 新規案件

	CL	審議時間:5分				審	義結果	承認
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	関節リウマチ				
成	分記号、	一般名称、製品名	Otilimab	治験依頼者	(治験国内管理人) IQVIA	サービシース	( ジャパン	株式会社
八田	公園課題を 従来型/生物学的 DMARD の効果が不十分な中等度から重度の活動性関節リウマチ患者を対象とし PRT N				PRT No.	201701		
公用	公開課題名	て、GSK3196165の4	<b>与効性及び安全性をプラセボ及びトファ</b>	PRI NO.	201791	<u> </u>		
議事	内容	今回審議された内容に	ついて、治験の実施に問題がないと評化	西された。				
新規治	台験依頼	(書式 3,1,2)						
C	OI	開示すべき COI 関係	すべき COI 関係にある企業などはなく、COI 委員会では治験の実施に関して特に問題ないと評価された。					
Q	&A	これまでに得られている臨床試験成績や海外文献に基づいて治験実施の妥当性について審議し、治験の実施には問題ないと評価された。						

## 案件別審議

	CL	審議時間:2分				審	義結果	承認	
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	潰瘍性大腸炎	{				
成	成分記号、一般名称、製品名 AJM300 治験依頼者 EA ファーマ株式会社								
公開記	<b>課題名</b>	AJM300 の活動期潰瘍	<b>瘍性大腸炎患者を対象とした第Ⅲ相</b> 闘	上大腸炎患者を対象とした第Ⅲ相臨床試験(2) PRT No. AJM300/CT3					
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	面された。					
治験に	治験に関する変更申請(書式 10)								
今回幸	今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。								

	CL	審議時間:2分				審	議結果	承認	
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	腎性貧血					
成	分記号、	一般名称、製品名	ASP1517	治験依頼者	アステラス製薬株式会社				
公開語	<b>課題名</b> アステラス製薬依頼の腎性貧血(保存期)を対象とする ASP1517 の第Ⅲ相比較試験 PRT No. 1517-CL-0310					CL-0310			
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	価された。					
安全性	安全性情報等(書式 16)								
有害事	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。								

	CL	審議時間:2分					義結果	承認
開発の相 PhaseⅢ 対象疾患名(PhaseⅢの場合) 中枢性神経障害性疼痛								
成	分記号、	一般名称、製品名	DS-5565	治験依頼者	第一三共株式会社			
公開記	第一三共株式会社の依頼による DS-5565 の中枢性神経障害性疼痛患者を対象とした臨床第Ⅲ相試験			を対象とした臨床第Ⅲ相試	PRT No.	DS556	5-A-J314	
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評	価された。				
安全性	安全性情報等(書式 16)							
有害事	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。							

	CL	審議時間:2分				審議結果	承認
開発	開発の相 PhaseII		対象疾患名(PhaseⅢの場合)	糖尿病性腎臓	掳		
成	成分記号、一般名称、製品名		セロンセルチブ	治験依頼者	ギリアド・サイエンシズ株式会社		

公開課題名	ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼による糖尿病性腎臓病患者を対象としたセロンセルチブの第3相試験	PRT No.	GS-US-223-1017					
議事内容	今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。							
安全性情報等	(書式 16)							
有害事象報告	に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。							
治験に関する変	治験に関する変更申請(書式10)							
今回報告された	今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。							

	CL	審議時間:2分				審	議結果	承認
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	クローン病				
成分記号、		一般名称、製品名	Risankizumab (ABBV- 066)	治験依頼者 アッヴィ合同会社				
公開記	課題名	-ン病患者を対象として	M15-991 試験の導入療法で改善し C, risankizumab の有効性及び安: 週間維持療法試験及び非盲検継続:	全性を評価する				
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評	価された。				
安全性	生情報等	(書式 16)						
有害	<b>『</b> 象報告	に基づき引き続き治験を	実施することの妥当性について審議を行	テい、治験の継続	には問題ないと評価された。			
治験は	治験に関する変更申請(書式 10)							
今回幸	今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。							

	CL	審議時間:2分					審議結果		承認
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	クローン病					
成分記号、		一般名称、製品名	Risankizumab (ABBV- 066)	治験依頼者 アッヴィ合同会社					
公開記	公開課題名 中等症から重症の活動性クローン病患者を対象として risankizumab の有効性及び安全性を評価する 多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験				PRT N	o.	M16-00	06	
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評	価された。					
安全性	生情報等	(書式 16)							
有害	事象報告	に基づき引き続き治験を	実施することの妥当性について審議を行	テい、治験の継続	には問題ないと評価された。				
治験は	治験に関する変更申請 (書式 10)								
今回幸	今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。								

	CL	審議時間:2分				審	議結果	承認
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	潰瘍性大腸炎	£			
成分記号、一般名称、製品名		一般名称、製品名	Risankizumab (ABBV- 066)	治験依頼者	アッヴィ合同会社			
公開	M16-067 試験又は M16-065 試験の導入療法で改善した潰瘍性大腸炎患者を対象として risankizumab の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照 52 週間 # PRT No. M16-066 維持療法試験及び非盲検継続投与試験				56			
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評	価された。				
安全	安全性情報等(書式 16)							
有害	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。							

	CL	審議時間:2分				審	議結果	承認
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	潰瘍性大腸炎	£			
成	成分記号、一般名称、製品名		Risankizumab (ABBV- 066)	治験依頼者 アッヴィ合同会社				
公開記			しなかった中等症から重症の活動性潰瘍 か性及び安全性を評価する多施設共同			PRT No.	M16-06	57
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	西された。				
安全性	安全性情報等(書式 16)							
有害事	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。							

	CL	審議時間:2分						承認
開発	の相	PhaseⅡ/Ⅲ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	潰瘍性大腸炎				
成	分記号、	一般名称、製品名	MD-0901	治験依頼者	持田製薬株式会社			
<b>₹\88</b>	明時力	持田製薬株式会社の	衣頼による活動期の小児潰瘍性大腸	炎患者を対象とし	た MD-0901 の第 Ⅱ / Ⅲ	PRT No.	MD000	111001
公用記	<b>公開課題名</b>	相試験					MD090	111P21
議事	内容	今回審議された内容に	ついて、治験の継続に問題がないと評(	西された。				
安全性情報等(書式 16)								
有害事	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。							

	CL	審議時間:2分					義結果	承認
開発	の相	Phase <b>I</b> I/ <b>I</b> I	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	潰瘍性大腸炎				
成	成分記号、一般名称、製品名 MD-0901 治験依頼者 持田製薬株式会社							
公開記	親名	持田製薬株式会社の依頼による寛解期の小児潰瘍性大腸炎患者を対象とした MD-0901 の第 Ⅱ/Ⅲ 相試験				PRT No.	MD090	111P22
議事	内容	今回審議された内容に	ついて、治験の継続に問題がないと評化	価された。				
安全性	安全性情報等(書式 16)							
有害事	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。							

	CL	審議時間:2分						承認
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	クロストリジウム	・ディフィシルワクチン			
成分記号、一般名称、製品名 PF-06425090 治験依頼者 ファイザー株式会社								
公開記	顆組	ファイザー株式会社の依	対象による 50 歳以上の成人を対象とす	よる 50 歳以上の成人を対象とする PF-06425090 の第 3 相試験 PRT No. B5091007				
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評(	西された。				
安全性	安全性情報等(書式 16)							
有害	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。							

	CL	審議時間:2分				審	議結果	承認	
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	糖尿病性腎臓病					
成	分記号、	一般名称、製品名	RTA402	治験依頼者 協和キリン株式会社					
公開語	課題名	糖尿病性腎臓病患者	を対象とした RTA 402 (Bardoxolo	ERTA 402 (Bardoxolone methyl) の第Ⅲ相試験 PRT No. RTA402-006					
<b>議事内容</b> 今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。									
重篤な	有害事	象(当院の被験者)(	(書式 12,13,14,15)						
重篤な	有害事	象報告に基づき引き続き	治験を実施することの妥当性について	審議を行い、治縣	の継続には問題ないと評価さ	れた。			
安全性	<b>計報等</b>	(書式 16)							
有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。									
治験に関する変更申請(書式 10)									
今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。									

	CL	審議時間:2分						承認
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	関節リウマチ				
成	成分記号、一般名称、製品名 ABT-494 治験依頼者 アッヴィ合同会社							
ΛŒΕ	<b>果題名</b>	メトトレキサート (MTX	)の使用経験のない中等症から重症	の活動性関節リ	カマチ患者における ABT-	<b>PRT No.</b> M13-545		45
公用記	木思石	494の1日1回投与	による単独療法と MTX 単独療法との	第 III 相無作為	化二重盲検比較試験	PKI NO	. 1413-2	+5
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評	価された。				
安全性情報等(書式 16)								
今回朝	今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。							

	CL	審議時間:2分					義結果	承認
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	関節症性乾癬	ŧ			
成	成分記号、一般名称、製品名		ABT-494	治験依頼者	アッヴィ合同会社			
公開記	公開課題名 関節症性乾癬患者を対		付象とした ABT-494 の第Ⅲ相試験			PRT No.	M15-55	54

**議事内容** 今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。

### 安全性情報等(書式 16)

有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。

	CL	審議時間:2分						承認
開発	の相	PhaseⅡ/Ⅲ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	強直性脊椎炎				
成分記号、一般名称、製品名 ABT-494 治験依頼者 アッヴィ合同会社								
公開詞	顆組	活動性強直性脊椎炎	首における Upadacitinib の第 II b/III相試験 PRT No. M16-098					
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評	価された。				
安全性	安全性情報等(書式 16)							
有害事	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。							

	CL	審議時間:2分				審	義結果	承認	
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	リウマチ					
成	分記号、	一般名称、製品名	MJK101	治験依頼者	(治験国内管理人)サイネオ	ス・ヘルス・ク	リニカル株	式会社	
公開課題名 リウマチ患者を対象とした MJK101 の第Ⅲ相試験 PRT No. MC-MTX.17/RA						X.17/RA			
議事	内容	今回報告された内容に	ンいて、治験の継続には問題ないと評価された。						
安全性	生情報等	(書式 16)							
有害	<b>『</b> 象報告	に基づき引き続き治験を	実施することの妥当性について審議を行	テい、治験の継続	には問題ないと評価された。				
治験に関する変更申請(書式10)									
今回幸	今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。								

HP		審議時間:2分				:	審議結果	承認	
開発	の相	Phase II	対象疾患名(PhaseⅢの場合)						
成分	分記号、	一般名称、製品名	JNJ-53718678	治験依頼者	ヤンセンファーマ株式会社				
Respiratory Syncytial ウイルス(RS ウイルス)感染症による急性呼				はる急性呼吸器!	感染症の28日齢以上3				
公開設	題名 歳以下の乳幼児を対象に種々の用量の JNJ-53718678 の抗ウイルス活性, 臨床アウトカム, 安全					PRT No	<b>53718</b>	53718678RSV2002	
		性, 忍容性及び薬物	動態/薬力学的関連性を評価する第						
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評	価された。					
安全性	情報等	(書式 16)							
有害事	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。								
治験に	治験に関する変更申請(書式 10)								
今回報	今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。								

	CL	審議時間:2分							承認
開発	の相	Phase II	対象疾患名(PhaseⅢの場合)						
成	分記号、	一般名称、製品名	JNJ-53718678	治験依頼者	ヤンセンファーマ株式会社				
		Respiratory Syncyti	al ウイルス(RS ウイルス)感染症に。	はる急性呼吸器の	感染症の28日齢以上3				
公開	開課題名 歳以下の乳幼児を対象に種々の用量の JNJ-53718678 の抗ウイルス活性, 臨床アウトカム, 安全				臨床アウトカム,安全	PRT No	<b>No.</b> 53	53718678RSV2002	
		性, 忍容性及び薬物	動態/薬力学的関連性を評価する第	2相,二重盲标	<b>倹、プラセボ対照試験</b>				
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	価された。					
安全	生情報等	(書式 16)							
有害	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。								
治験は	治験に関する変更申請 (書式 10)								
今回幸	今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。								

	CL	審議時間:2分				審	義結果	承認
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	糖尿病性腎症				
成	成分記号、一般名称、製品名 TA-7284 治験依頼者 田辺三菱製薬株式会社							
公開語	は 田辺三菱製薬による糖尿病性腎症第3期(顕性腎症期)患者を対象としたTA-7284の第Ⅲ相試験				たTA-7284 の第Ⅲ相試	PRT No.	TA-728	34-14
議事	議事内容 今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。							
安全性	安全性情報等(書式 16)							

有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。

#### 治験に関する変更申請(書式10)

今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。

	CL	審議時間:2分						
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	場合)				
成	成分記号、一般名称、製品名 BMS-188667SC 治験依頼者 ブリストル・マイヤー							
公開課題名		活動性を有する成人一	-次性シェーグレン症候群患者を対象と	としたアバタセプト皮下投与の有効性及び安 PR			TM1010	-02
公用記	和思石	全性を検討する第3相	ランダム化二重盲検プラセボ対照試験 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				IM101603	
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評	価された。				
安全性	安全性情報等(書式 16)							
有害事	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。							

	CL	審議時間:2分				審	義結果	承認		
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	活動性関節リウマチ						
成	分記号、	一般名称、製品名	ASP015K	治験依頼者	アステラス製薬株式会社					
公開語	<b>課題名</b>	リウマチ患者を対象とした	を対象とした ASP015K 継続投与試験 PRT No.					L-RAJ2		
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評価	価された。						
安全性	安全性情報等(書式 16)									
有害	有害事象報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行い、治験の継続には問題ないと評価された。									

HP		審議時間:2分							
開発	の相	PhaseⅢ	対象疾患名(PhaseⅢの場合)	顕微鏡的多角					
成	分記号、	一般名称、製品名	GGS	治験依頼者	帝人ファーマ株式会社				
公開記	<b></b> 題名	GGS の MPA を対象と	A を対象とした第Ⅲ相試験 PRT No. GGS-MPA-002					PA-002	
議事	内容	今回報告された内容に	ついて、治験の継続には問題ないと評	価された。					
治験に	治験に関する変更申請(書式 10)								
今回幸	今回報告された内容について、治験の継続には問題ないと評価された。								

## 【新規】【医療用医薬品】製造販売後調査(2件)

R-P68	書類提出日 2019/10/7 位	<b>依頼者</b>	株式会社工人	<b>ヘ・イー・システム</b>	審議結果		承認
薬品·器具名	TURIUS Femoral Nail System		診療科	整形外科	医師	篠原	孝明
実施症例数	50 症例(1 症例 1 報告)		実施期間	2019年10月7日~2020年	12月3	1日	
課題名	TURIUS Femoral Nail System 特使用成績	調査					
概要	情報の検出のため、疑問点や問題点を把握する事						

R-P70	書類提出日	2019/9/27	依頼者			審議網	課	承認
薬品·器具名	プリズバインド®剤	注液 使用成績調査(	全例調査)	診療科	循環器内科	医師	近藤	和久
実施症例数	3 症例(1 症例:	症例(1 症例 1 報告)			2019年10月7日~2021年	3月31	目	
課題名	プリズバインド®静	がズバインド®静注液 使用成績調査 (全例調査)						
概要	臨床使用実態下で	鼠床使用実態下でプリズバインド®静注液が使用された患者における安全性及び有効性を検討する。						

### 【変更】【医療用医薬品】製造販売後調査(5件)

R-P33	書類提出日	2019/9/3	依頼者	小野薬品工	業株式会社	審	議結果	承認
薬品·器具名	オプジーボ点滴静	注		診療科	泌尿器科	医師	神谷浩行	
実施症例数	3 症例(1 症例:	3 報告)		実施期間	2016年2月1日~2			
課題名	オプジーボ特定使用	用成績調査【根治切除不	能又は転移性の腎	<b>子細胞癌</b> 】	. 2010   27,114 2011   107,104			

R-P64	書類提出日	2019/9/3	依頼者	小野薬品工	品工業株式会社 審議結果		議結果	承認
薬品·器具名	オプジーボ点滴静	注		診療科	呼吸器内科	医師	沓名健雄	
実施症例数	2症例(1症例)	2 報告)		実施期間	2018年11月1日~	·2022年4		
課題名	オプジーボ使用成約	責調査【切除不能な進行	・再発の悪性胸膜	中皮腫】				
変更内容	今回報告された内	今回報告された内容について、PMSの継続には問題ないと評価された。						

R-P33	書類提出日	2019/9/3	依頼者	小野薬品工	業株式会社	審	議結果	承認
薬品·器具名	オプジーボ点滴静	注		診療科	泌尿器科	医師	神谷浩行	
実施症例数	3 症例(1 症例:	2 報告)		実施期間	2016年11月1日~	∕2020年∠		
課題名	オプジーボ特定使用	オプジーボ特定使用成績調査【根治切除不能又は転移性の						
変更内容	今回報告された内	容について、PMSの継続	こは問題ないと評価	<b>話れた。</b>				

R-P36	書類提出日	2019/9/3	依頼者	小野薬品工	工業株式会社審議結果		議結果	承認
薬品·器具名	オプジーボ点滴静	注		診療科	血液·化学療法内科	医師	伊藤公人	
実施症例数	2症例(1症例:	2 報告)		実施期間				
課題名	オプジーボ特定使用	オプジーボ特定使用成績調査【再発又は難治性の古典的ホ						
変更内容	今回報告された内	容について、PMSの継続に	こは問題ないと評価	<b>話れた。</b>				

R-P36	書類提出日 2019/9/3 依頼者			小野薬品工	業株式会社	審	議結果	承認
薬品·器具名	オプジーボ点滴静	注		診療科	血液·化学療法内科	医師	伊藤公人	
実施症例数	2症例(1症例)	2 報告)		実施期間	2017年1月6日~2	019年12	2月31日	
課題名	オプジーボ特定使用	用成績調査【再発又は難	治性の古典的ホジ	キンリンパ腫】				
変更内容	今回報告された内	容について、PMSの継続に	こは問題ないと評価	<b>話れた。</b>				

## 【終了】【医療用医薬品】製造販売後調査(4件)

R-POLD18	書類提出日 20	19/10/1	依頼者	武田薬品工	 業	審	議結果	承認
薬品·器具名	ロトリガ粒状カプセル			診療科	糖尿病·内分泌内科	医師	寺島 康博	
実施症例数	5症例(1症例2報台	告)		実施期間	2015年3月11日~	2019年1	12月31日	
課題名	ロトリガ粒状カプセル 特	定使用成績調査	OCEAN3					
内容	PMSの終了について問題	題なく終了することを習	審議・確認した。					

R-POLD18	書類提出日	2019/10/1	依頼者	武田薬品工	業	審	議結果	承認
薬品·器具名	ロトリガ粒状カプセ	ンル		診療科	脳神経内科	医師	服部 学	
実施症例数	5 症例(1 症例)	2 報告)		実施期間	2015年1月1日~2	019年12	2月31日	
課題名	ロトリガ粒状カプセノ	レ 特定使用成績調査	OCEAN3					
内容	PMSの終了につい	て問題なく終了することを	審議・確認した。		_	•	•	

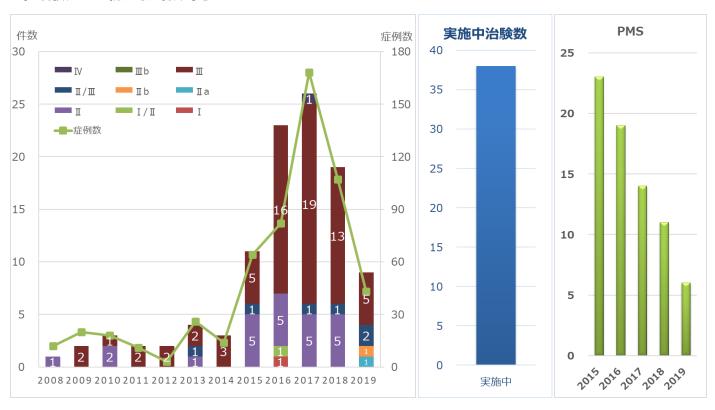
R-P14	書類提出日	2019/9/27	依頼者	日本ベーリン	ガーインゲルハイム	審	議結果	承認
薬品·器具名	ジャディアンス錠			診療科	糖尿病·内分泌内科	医師	寺島 康博	
実施症例数	5 症例			実施期間	2015年12月1日~	2020年8	3月31日	
課題名	ジャディアンス錠特に	定使用成績調査(長期	使用に関する調査	)				
内容	PMSの終了につい	て問題なく終了することを	審議・確認した。					

R-P37	書類提出日	2019/9/9	依頼者	MSD 株式会社		審議結果		承認
薬品·器具名	キイトルーダ			診療科	呼吸器内科	医師	西尾 昌之	

実施症例数	3 症例(1 症例 2 報告)	実施期間	2017年3月3日~2020年2月18日
課題名	キイトルーダ®点滴静注使用成績調査(非小細胞肺癌)		
内容	PMSの終了について問題なく終了することを審議・確認した。		

### その他

### 1)治験、PMS新規導入件数など



### 2) 医薬品 GCP 実地調査について

2019 年 9 月 19 日、当該医療機関では初めて PMDA による実地調査が実施された。対象の治験は、膠原病リウマチ内科で実施されていた ABT-494 (RA) の治験で、特に問題なく終了した。結果については数か月後に書面で郵送されるとのことであった。

### 【CentralIRB 審議分】大同病院、だいどうクリニックで実施中の案件

依頼者	治験薬品名	Phase	対象	診療科	治験責任医師
アストラゼネカ	ZS	ш	高カリウム血症	腎臓内科	志水英明
アストラゼネカ	ダパグリフロジン	ш	CKD	腎臓内科	志水英明
POXEL	Imeglimin (PXL008-018)	ш	2型糖尿病	糖尿病内分泌内科	寺島康博
POXEL	Imeglimin (PXL008-020)	ш	2型糖尿病	糖尿病内分泌内科	寺島康博
興和	K877	IV	高コレステロール血症	糖尿病内分泌内科	寺島康博
大正	TS-152 (3000)	П/Ш	関節リウマチ	膠原病リウマチ内科	土師陽一郎
大正	TS-152 (3001)	П/Ш	関節リウマチ	膠原病リウマチ内科	土師陽一郎
大正	TS-152 (3002)	П/Ш	関節リウマチ	膠原病リウマチ内科	土師陽一郎
ゼリア新薬	ZG-801	п	高カリウム血症	腎臓内科	志水英明
協和発酵キリン	KHK7791 (Tenopanor)	п	高リン血症	腎臓内科	志水英明

ノバルティス	RTH258	ш	糖尿病黄斑浮腫	眼科	久保田 文洋
大鵬薬品	TAS5315	п	関節リウマチ	膠原病リウマチ内科	土師陽一郎
ノバルティス	QBW251	ш	COPD	呼吸器内科	沓名健雄